

### 中高生がつくる おれたち・わたしたちの文化祭

#### 取組の背景・目的

杉並区立児童青少年センターゆう杉並（以下、ゆう杉並）は、日本で初めての中高生が優先で利用できる児童館として開設し27年が経ちました。

ゆう杉並の開設にあたっては、43人の中高生（中・高校生建設委員会）が集まり6か月間に8回の会議を重ね新しくできる児童館についての意見をまとめ区に提出し施設の設備に反映させました。開設後も中高生の意見を運営に反映させるべく中・高校生運営委員会（以下、委員会）を組織し、ゆう杉並が中高生にとってより良い居場所となるよう運営に関わっています。

ゆう杉並では、開設当初より「ACTIVE FESTA」という文化祭を年に一度実施してきました。ですが、新型コロナウイルスの感染拡大により、ゆう杉並史上初めて中止となってしまいました。

委員会は、なんとかして文化祭を復活させようと熟考を重ね、盛大に開催していたお祭りを3日に分割し、フロアを分散させて実施することでお客さんを一か所に集めすぎることなく楽しむことができました。名称も「ACTIVE FESTA」から「ゆう杉祭」と変更し、ゆう杉並の新たな文化祭としてスタートしました。

今回は、令和6年12月に実施した、4回目の「ゆう杉祭」について紹介させていただきます。

#### 取組の概要

ゆう杉祭実施の中心となった令和6年度の委員会は、中学生2名、高校生6名の8名で活動しています。毎月3回程度の定例会で、ゆう杉並をより良い居場所にするための話し合いを行っています。委員会担当の職員は3名で、中高生の活動をサポートしています。

今年度のゆう杉祭ではテーマを「繋」とし、ゆう杉並を利用している中高生同士の繋がりを意識したお祭りになるよう取り組んできました。中高生による19企画を2日間で実施しました。

令和6年12月14日(土)14:00~18:45 / 15日(日)10:00~16:00

場所	企画
ロビー	ゆう杉ラジオ aka seiha（全館放送）、Official 鉄の会、 デコって繋げ！食べて繋がろう！おかしな輪 1歩先は未来だ。～Top of darts～、Official Vocal live
ゆうホール	ROCK!ゆうライブ、繋がる演奏会、Let's 3m クライミング、 Official 演劇
体育室	卓球 1on1、Table Tennis Time、ゆう杉カップ～バレーボール～ 交流バレー、サッカー5on5、3on3 大会（バスケ） CLOWN ワークショップ（ジャグリング）
集会室	ボドゲ会①、ボドゲ会②、冬の大乱闘 TV ゲーム大会

### 工夫点・留意点

どんな行事にしたいかのテーマ設定や目的の共有には時間をかけて、しっかりとそれぞれの思いを話し合いできるようにしました。テーマの「繋」を意識してどう進めたら、中高生同士がどう繋がれるか考え進めていきました。

企画募集期間には毎日必ず委員が来館し、利用者に積極的に声をかけました。委員からゆう杉祭の内容やテーマを直接利用者に説明をして、委員と利用者の繋がりを作ることができました。

また、企画者全員が顔を合わせる「全体会」を実施し、企画者となった中高生同士が繋がり合い「ゆう杉祭」をみんなで盛り上げいく気運を高める機会を設け、内容も工夫して進めることができました。

### 取組の効果

委員が直接利用者とやり取りすることで、ゆう杉祭の運営に対して責任感を持って取り組むという意識が大きくなっていきました。今年度の委員は8名と多くはありませんが、少人数でも運営していけるよう、ひとりひとりが自分の役割を全うして2日間を乗り越えました。

また、中高生同士の横の繋がりが強くなったことで、様々な企画にお互い顔を出し合う姿が見られ、今まで参加したことがなかった企画にも参加してみる機会となりました。

### 課題・今後の展開

多くの中高生が楽しんだ「ゆう杉祭」を、自分たちの力で最後までやり切れたという思いが大きな自信につながったと思います。ですが、その一方で、委員会の振り返りでは、自身の予定の把握が不完全だったり全体的な進行管理の甘かったりしたことがあげられました。

職員も「ゆう杉祭」を体験し経験を積み上げてきました。今後も中高生と、実施に向けて大切なことはどんなことだろう、成功とはどんな状態だろうということの中高生自身が発見し、そこに向かう道筋をしっかりと歩いていけるようにサポートしていきたいと思います。